

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2017
vol.236

毎月1日発行

1月号

ゆるる 月刊

杜の伝言板



2016.12に開催された
アamani・アフリカの
短期ショopp°
in みやぎNPOプラザ

- 子どもたちの居場所づくり 地域ぐるみで自由な遊び場を
- 日本とケニアの架け橋に～アamani・アフリカの取組み～
- 決定 みやぎ社会貢献大賞 みやぎ発達障害サポートネット
みやぎ小さな活動大賞 方言を語り残そう会

みやぎNPOプラザからのお知らせ

みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム
市民社会への創造 ～未来を拓くNPOであるために～開催!

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



子どもたちの居場所づくり

地域ぐるみで自由な遊び場を



谷垣 伶奈

仙台市財政局理財部
(仙台市協働人材育成事業
～NPO留学しませんか～体験職員)

楽しそうな笑い声、ばたばたと翔る音、マジックペンを持つてはしゃぐ子どもたち。若林区の伊在二丁目公園には、そのような光景が広がります。遊びを通して人や地域とつながる機会をつくっているのが、認定NPO法人冒険あそび場さんだ。冒険あそび場ネットワーク(以下、冒険あそび場ネット)です。

●●● 自分の責任で自由に遊ぶ ●●●

子どもは、遊びを通して自ら生きる力を身につけていきます。しかし、現在の子どもの遊びを取り巻く環境は、とても窮屈なものです。「うるさい」「危ない」「迷惑をかける」からやめなさいと大人

に言われ、子どもたちは自主的な行動をする機会を奪われています。冒険あそび場ネットは、そんな子どもたちに思いのままに遊ぶことができる居場所を返していくために、活動しています。

冒険遊び場は『自分の責任で自由に遊ぶ』がモットーです。「遊び場は子どもたちがやりたいことをやれる場。遊具や道具などのハードは用意しますが、それをどのように利用するかは子どもたちの自由になさせています」とプレリーダーの岩渕健史さんは言います。

遊び場にはプレリーダーがいますが、子どもたちの自由を尊重して活動しています。「プレリーダー」と聞くと、子どもたちに遊び方を教えたり、先頭を切って遊んでくれる先生やリーダーだという印象を持たれるかもしれませんが、遊び場のプレリーダーは子どもたちがやりたいことを実現できるように見守る存在です。こんなこととしてみたいんだけどという相談に乗ったり、子どもたちが話したいことがあれば傾聴します。一緒に遊ぼうと子どもたちから声をかけられたときには思い切り遊びます」と事務局の米倉正子さん。岩渕さんは、「プレリーダーは放任はしても、放置は決してしませ



ん。本当に危険なときはもちろん助けるし、遊びのヒントをあげることもあります。しかし、大人が必要になったときには子どもたちの方から話しかけてくれます。だから大人からはこれをしようあれをしようとは言わないようにしています」とも言います。

冒険遊び場では、このように子どもが自分の意思で自由に遊ぶことをとても大切にしています。

●●● 震災発生後の心のケア ●●●

冒険あそび場ネットワークでは、若林区井土にある海岸公園冒険広場の指定管理をしていました。この公

▶事務局の米倉さん(右)とプレリーダーの岩渕さん(左)

園は、二〇〇五年に開園して以来、年間十八万人が利用する大人気の公園でした。

しかし、二〇一一年三月十一日、今まで経験したことのない大津波が冒険広場を襲いました。海岸からわずか三〇〇メートルの距離にある冒険広場は、高台部分を除いて甚大な被害を受けました。

震災発生後は、海岸公園は使用できる状態ではありませんでした。そのため、仮設住宅や小学校での遊び場開催を軸に支援活動を展開していました。仮設住宅の近くの遊び場では、子どもが遊ぶということはもちろんですが、子どもたちと一緒に年寄りの皆さんも集まり、おにぎりなどを持ってきてわいわいするという光景もみることができました。

「子どもたちは遊びを通して、心の中の正直な気持ちを表しているように感じました」と岩渕さん。仮設住宅に移り、気を張っていた子どもも、遊び場で目一杯遊ぶことで、大きな声で笑うようになりました。遊び場に集まっていたお年寄りの皆さんも、子どもの笑っている姿をみることができて良かったと喜びました。冒険遊び場は心のケアの役割も果たしています。

●●● 地域主体の遊び場づくりへ ●●●

冒険あそび場ネットでは、現在も、六郷や七郷、田子や岩沼などで巡回型の遊び場の活動を行っています。冒険遊び場がある日は、子どもたちの期待をのせて、小学校や公園にカラフルな「プレーカー」がやってきます。プレーカーには、手づくり遊具や、のこぎり・かなづちなどの工具、木材や縄など、子どもたちが自由に遊べる道具が積まれています。海岸公園冒険広場が休園中でも子どもが思い切り遊べるよう、出張して遊び場の活動が行われています。

巡回型の遊び場は、子どもたち



▶カラフルなプレーカー

◀ビニールの壁にお絵かき



が遊ぶだけでなく、大人同士の情報交換の場にもなっています。幼稚園の情報や、病院の評判、おすすめのお店の紹介など、子どもたちが遊んでいる間におしゃべりは盛り上がりがあります。子どもの洋服のおさがりをあげたりするなど、交流にもつながっています。

このように、遊び場は多世代のコミュニティ形成の場にもなっています。「これがきっかけで、これなら私たちにも遊び場ができそうだ」と地域の人にも思ってもらえた良いなと思います」と岩渕さん。実際に、未就園児と保護者が対象の遊び場の活動では、保護者が中心となってチラシを作るなど、大活躍しています。

震災直後と比べると、冒険あそ

び場ネットの活動がない日でも、子どもや保護者が公園に集まって遊ぶ光景も見られるようになりました。岩渕さんは、「プレーカーや道具がなくても、地域のコミュニティを活かして、子どもたちの居場所をつくり見守るということが続けていってもらえたら嬉しいです。冒険遊び場の理念や経験地域の方に伝え、私たちは運営する立場から支える立場になっていけたらなと感じています」と語ります。

子どもの個性や意思などは遊びそのものに現れます。そのため、自由に遊び個性を存分に発揮することができる遊び場は、子どもたちの心の拠り所となっています。海岸公園冒険広場は二〇一八年に再開する予定です。その海岸公園冒険広場をはじめ、地域に遊び場が広がり、子どもの笑顔があふれるよう、冒険あそび場ネットは活動しています。

認定NPO法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-17

日東ハイツ202

●TEL/FAX : 022-264-0667

●E-mail : jimukyoku@bouken-asobiba-net.com

●URL : <http://www.bouken-asobiba-net.com/>

日本とケニアの架け橋に

～アマニ・ヤ・アフリカの取組み～



高橋 実希

杜の伝言板ゆるるインターン
東北大学 2年

一九九八年、十二月末、NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ(以下、アマニ)前理事長の石原邦子さんは、東アフリカ最大規模のスラム「キベラスラム」を訪れました。スラムとは、都市部で極貧層が居住する過密化した地区のことです。キベラスラムはケニアの首都ナイロビから北西方向に車で約十分走った場所に位置します。現在キベラスラムの人口は仙台市とほぼ同じ約百万人。それほど多くの人々がわずかに二・五平方キロメートルの場所で暮らしています。

なぜ、スラムができたのでしょうか。理由の一つは、田舎から出稼ぎに来る人々の存在です。近年地球温暖化等の影響で、自給自足の生活は厳しさを増し、食料を得るためには「買うこと」が必要となりました。そのため、仕事を求めて都市部に移動する人が増えたのです。そして、現在もキベラスラムは拡大し続けています。

この地で、前代表の石原邦子さんは過酷な現実と向き合いながらも、明るく前向きに生きる人々の存在を知りました。その時に芽生えた、何とかこの人たちの支援をしたいという想いが、現在のアマニの活動の原点となりました。アマニとはスワヒリ語で「平和」の意

味。その名の通り、日本とケニアを結ぶ架け橋として、これまでの十九年間貧困に苦しむ人々のために様々な活動を行ってきました。

●●● ケニア人ファーストの支援 ●●●

学校に通いたくても通えない子どもたちの教育支援が最初の活動でした。それは古い教科書を作り直すための製本機の寄贈から始まりました。その後、現地に長く住む日本人女性、早川千晶さんと、その友人であるスラム住人のリリアン・ワガラさんと出会い、厳しい立場にいる子どもたちの教育に情熱を持つ彼女らの、独自で学校運営をしたいという提案にアマニが資金援助をする形で参加し、活動が開始しました。日本でのフェアトレード商品販売や募金活動により、二〇〇一年、キベラ地区にストリートチルドレンのための小学校、マゴソスクール(Mashimoni Good Samaritan School for the Orphans)が設立されました。アマニでは、給食費や、日本の中等教育に当たるセカンダリースクールへの進学費用等の支援活動を継続しています。

続いている活動は、フェアトレー

ド商品の販売です。スラムで暮らす低所得者は、その日の現金欲しさにはほとんど儲けがない状態で商品を売ってしまったり、安い賃金で肉体労働を強いられたりしています。彼らへの注文を適正な価格で継続的・安定的に行うことにより、彼らが毎月安定した収入を得ることを目標としています。

アマニのフェアトレードは牛骨でアクセサリを作るスラムの工場との取引から始まりました。現在は、ティカ市のハンディキャップグループやバナナ葉で民芸品を作る職人、針金とビーズで動物やオブジェを作るビーズ細工職人との取引も行っています。ビーズ細工の売り上げの一部は、スラムの小学校に勤務する先生の給料支援に充てられています。

人脈が広がるにつれて活動の幅も広がり、数年前からは現地での直接的な支援も始まり



▶マゴスクールの子どもたち

ました。二〇〇九年にNPO法人化したアマニですが、さらに、現地でじっくりと時間をかけてフェアトレード活動、教育支援を行いたいという想いから、二〇一〇年六月にケニア政府の認可の元、NGOアマニ・ヤ・アフリカ・ケニアを設立しました。そして、同年九月にはケニアのティカ市に、貧困により十分な教育を受けることが出来なかったケニアの若者や障がい者のための職業訓練所「アマニ・ファクトリー」を設立し、運営を開始しました。ここでは、彼らが経済的に自立して現金収入を得られるよう、洋裁や民芸品製作のトレーニングを行っています。現在は十四名程がこの職業訓練所を卒業しています。



▲思いが詰まった商品と
(写真中央 石原輝さん)

ラフルで様々な模様がある)で作られた巾着を見ながら、「生産者から直接買い付けているので、縫い方を見ると作った人の顔が浮かびます。アマニ・ファクトリーの卒業生が自立して生活できていることが大変嬉しく、やりがいに繋がっています」と話していました。アマニでは、教育支援や職業支援等、「与える支援」よりも「育てる支援」を大切にしています。時間がかかる分、資金づくりや人材不足での苦労は絶えませんが、ケニアの人々にとって最も有益な支援をしよう、というのが「ケニア人ファースト」のアマニの考え方です。

●●●日本とケニアの違い

「日本とケニアの大きな違いは、死が身近にあることです」と、石原さんは話します。ケベラスラムでは、至る所にゴミが積み重なり、路上には生活排水と人糞。それらの汚染物から菌やウイルスが空気に舞い、病気が蔓延します。また、食べ物を買うお金を稼ぐために小さい頃から売春をし、エイズに感染する子どもが多くいます。「日本人は『生活する』ですが、ケニア人は『生きる』という言葉が

適切だと思えます。

キベラスラムはいつ自分に死が訪れてもおかしくない環境です。困難や苦労は当たり前。何とかしよう、やるしかない。毎日を生き抜くために皆必死です」と話す石原さん。ケニアの人々の笑顔からは、生きることに対する底知れないパワーが伝わってくるような気がします。



▲職業訓練所の生徒とスタッフの皆さん

●●●百年後のケニアを想像して

石原さんの目標は、アマニの活動を百年続けること、そして百年後にケニアの現状が良い方向に変化していることです。ケベラスラムに住む人々も私たちと同じ人間という仲間です。仲間が過酷な環境の中で毎日を必死に生きている。石原さんに、貧困をなくすために必要なことを尋ねると、「より多くの人々が貧困地域の現状を知り、意識を変えることです。現状を知

らないままでは、上から目線の支援になってしまいがちです。日本の低価格商品の裏には貧困地域で低賃金労働をする人々の存在があります。日本も発展途上国の貧困サイクルと無関係ではないのです。自らも貧困問題に関わっているという認識をもつことが支援活動を継続するうえで重要ですよ」と話していました。

アマニでは、これまでアフリカの文化や生活・貧困の実態等を広く伝えるために、国内イベントやスタディーツアーを主催しています。二〇一六年六月には、マゴソスクールの設立者であるリリアンさんらを日本に迎え、仙台で講演会が行われました。

大切なことは、社会の問題に関心を持つこと、そして、小さなことでも行動に移してみることです。一人ひとりの力は小さくても、協力する人の数が増えればきっと大きな変化に繋がります。

NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-10-34-205号
●TEL/FAX : 022-797-7556
●E-mail : info@amani-ya.com
●URL : http://www.amani-ya.com/

決定

みやぎ社会貢献大賞

みやぎ発達障害サポートネット

みやぎ小さな活動大賞

方言を語り残そう会

今年度の「みやぎ社会貢献大賞（A賞）」並びに「みやぎ小さな活動大賞（B賞）」の受賞団体が決定しました！A賞には発達障害の児童とその家族を支える活動を行ってきた「みやぎ発達障害サポートネット」が、B賞には、方言の持つ魅力を多くの人に伝え後世に残す活動を行ってきた「方言を語り残そう会」が選ばれました。

活動を讃える賞

「みやぎ社会貢献大賞」は一般財団法人愛知揆一福祉振興会が団体の「日頃の活動の獨創性、社会を明るく元気にする効果、広く県民に感動を与えることへの賞賛と期待を大賞という形であらわそう」と平成十九年に創設し、今年で九年目を迎えます。市民活動の発展と共に、受賞団体の規模も大きくなってきたことから、活動規模は小さくても長年にわたって地域福祉を担ってきた団体の功績にも光を当てたいと、昨年からは「みやぎ小さな活動大賞（B賞）」も設けられました。

本年度は、A賞に十団体、B賞に九団体の応募がありました。その中から書類選考でA賞にノミネートされたのは、NPO法人仙

台夜まわりグループ、認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット、認定NPO法人グループゆうの三団体、B賞は方言を語り残そう会、ステップみやぎ実行委員会、Sendai Forzaの3団体です。

審査員の前でプレゼンテーション並びに質疑応答での第二次審査会は、十二月八日（火）エル・ソラ仙台大研修室で開催され、同志社大学教授の新川達郎先生を審査委員長に迎え、同財団理事九名が審査員として選考審査が行われました。

審査会のプレゼンテーションは、「みやぎ小さな活動大賞（B賞）」「みやぎ社会貢献大賞（A賞）」の順番で行われ、各団体は設立の経緯や、これまで活動してきた実績、これからこの展開などの発表をした後、審査員からの質疑に対して答える形

で行われました。各団体の発表後に審査員委員長の講評があり、六団体にノミネート賞が贈呈されました。

その後に各審査員の評価をもとに協議がなされ、A賞とB賞が決定しました。

「みやぎ社会貢献大賞（A賞）」にノミネートされた団体は、組織の予算規模は違いますが、どの団体も長年にわたりそれぞれの分野で素晴らしい活動実績があり、将来性も十分です。そのため審査は難航しましたが、最終的に三団体とも表彰に相応しいという結論になり、みやぎ発達障害サポートネットがみやぎ社会貢献大賞、仙台夜まわりグループとグループゆうが審査員特別賞を受賞という結果になりました。そのわずかな差は、賞金の使途と必要性をプレゼンで明確に伝えていたこと、また認定NPO法人を取得して多くの方からの寄付を集めたいという思いが伝わったこと、そしてそのための複雑な事務等もしっかり対応しているという点が僅差の評価につながりました。

伝える力の重要性

みやぎ社会貢献大賞を受賞した



▶審査会を終えて

認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット(代表理事・相馬潤子)は、発達障がい児とその家族を支える総合的な支援を展開し、特に先駆的な活動として発達障がい児が自分の個性を活かして成長するための療育支援プログラムを提供しています。この療育支援へのニーズが高く、施設利用の増加率が一九〇%となっていますが、施設の老朽化により雨漏りが酷く、現在移転準備を進めています。また療育が提供できる人材の育成にも力を入れています。

審査員特別賞のNPO法人仙台夜まわりグループ(理事長・今井誠二)は、二〇〇〇年から路上生活を始める方への夜回りや炊き出しから始まった活動ですが、現在では、仙台市とも連携し生活再建支援へと活動が広がっています。震災後、復興関連の仕事を求めて全国から東北にやってきたものの仙台で路上生活に陥ってしまった方が増えたことから、そ



▲みやぎ発達障害サポートネット

の相談事業にも力を入れてきました。その相談事業で出会った若者が支援によりホームレスから脱却し、夢であった高校進学を果たし、現在は団体の活動もサポートしているという事例を本人も一緒に登壇して発表しました。

もう一つの審査員特別賞は、認定NPO法人グループゆづ(代表・中村祥子)です。「だれもが住み慣れた場所で、安心して暮らし続けられる社会を」と活動を続ける中で、支援対象は高齢者から障がい者・児とその家族、子育てママへと広がり、今では七十名近いスタッフを抱える大きな組織となりました。発表は、各部門の次世代リーダー三名が登壇し、活動の内容だけでなく、他団体との連携や世代交代への準備など、組織が大きく成長する中で堅実な運営をしてきたことが伝わる発表でした。

B賞のみやぎ小さな活動大賞の審査では、これまでの功績とこれからの期待という活動の継続性と将来性、どちらに重きを置くかで審査員の意見が大きく分かれましたが、今回はこの賞の最大の目的である功績を讃える点から、後世に残す記録を制作した方言を語り残

そう会(代表・金岡律子)の受賞となりました。地域の無形の財産である方言の魅力の後世に残すため、方言と共通語の辞書ともいえる名取方言集(共通語引き・例文つき)「名取ざつと昔」を制作してきました。また、震災の記憶を残そうと、被災者の句集も発行。地元の方言を後世に伝えるやりにがいから、高齢の会員も元気に活動を続けています。



▲方言を語り残そう会

●受賞で広がる活動

審査会に先立ち、昨年、みやぎ社会貢献大賞を受賞した「NPO法人ほっぷの森」とみやぎ小さな活動大賞を受賞した「みやぎ民話の会」の二団体の活動報告がありましたので紹介します。

事故などにより人生の途中から障がいを持つこととなった高次脳機能障害の方々のご家族をつなぎ、支援の輪をつなげていく活動をしているほっぷの森からは、副理事長の深野せつ子さんが登壇。昨年

の受賞で、多くの方に高次脳機能障害を知っていただくためのパンフレットを作成し、気仙沼や登米などの研修会で配布することができた、と報告がありました。

また、みやぎ民話の会の小野和子さんから、これまで地元の民話や戦争当時の話を聞き取って記録してきた活動に加え、震災後、福島県双葉地区から避難してきた方々から震災時の話を記録する活動を続け、昨年の受賞でその記録をまとめた「双葉の記録」を、〇〇〇部発行。公共施設等に寄贈し、喜ばれたという報告がありました。

市民には自分達の力で自分達の社会の課題を解決する力があり、それを応援してくれる人や団体がいることを再認識した審査会でした。

一般財団法人愛知揆一福祉振興会

〒980-0183 仙台市青葉区米ヶ袋1-5-21
●TEL: 022-262-0666
●FAX: 022-227-1320
●URL: <https://www.aichi-fukushi.org/>

みやぎNPOプラザ開館15周年記念フォーラム 市民社会への創造 ~未来を拓くNPOであるために~開催!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザは、昨年四月で十五周年を迎えました。この節目を記念して、十一月二十六日、開館十五周年記念フォーラムを開催しました。

この十五年間、宮城県でも高齢化や少子化、所得格差の拡大などの地域課題は一層複雑化し、従来の社会構造では対処しきれなくなっています。さらに宮城県では、東日本大震災がそれらの課題の進行に拍車をかけました。

一方、NPOや市民活動団体の数は飛躍的に増加し、複雑化する課題解決の一翼を担う存在となりました。しかし、慢性的な人材不足や資金不足によって、多くのNPOが存続の危機に直面しているという現実もあります。

今、考えるべき三つのテーマ

このフォーラムでは、「市民社会への創造 ~未来を拓くNPOであるために~」をテーマに、NPOが活動を継続し力を発揮し続けることができるよう、団体自身の課題と向き合うプログラムを企画しました。

とくに多くのNPOにとっての共通の関心事として、「NPOの資金の現状」「NPOと世代交代」

「NPOで働くということ」をピックアップ。この三テーマそれぞれについて深く議論をするための分科会を設けました。

各分科会には、中小企業診断士で草の根金融研究所「くさのーね」代表の多賀俊二さん(NPOの資金の現状)、認定NPO法人日本NPOセンター事務局長の新田英理子さん(NPOと世代交代)、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長の青木ユカリさん(NPOで働くということ)をそれぞれ事例発表者として招きました。

分科会で深まった議論を、それぞれの事例発表者の言葉も借りつつまとめると次の通りです。

■資金の現状 — いかにもNPOらしく活動の資金を生み出すか。とくにNPOの場合は活動の支援対象者以外からも積極的に寄付や融資、助成金、補助金など、広い視野で資金を集めることを考える。

■世代交代 — 創設者の想いは、後継者にとっては重い。しかし組織のミッションを基軸にどのような展開するか、世代交代は一筋縄ではいかない。組織や事業を引き継ぐ側にも、引き受ける側にも、覚悟が必要。

■NPOで働くということ — NPOの収入自体不安定なことから職員の給料がしっかり確保できないのは多くの団体の課題だが、NPOが目指す社会変革に少なからず共感していることで継続しているものもある。NPOらしい働き方も模索していく必要があるのではないかな。

これら分科会のエッセンスは、参加者が再び集合したフォーラムの後半で共有しました。そしてコーディネーターの大久保朝江プラザ館長の「今こそ市民自らが社会の一員として社会の課題解決に取り組む活動に参画するときであり、それを自分の意志で選択する力を持つていくことが重要だ」というメッセージでフォーラムを締め、幕を閉じました。



▶資金に関する分科会ではワークシートを使って事例発表者と参加者が議論しました

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

NPOのための決算書作成初級講座in石巻 1/25(水) 13:00~15:30

NPOのための会計・税務相談 1/27(金) 13:00~17:00

仲間の輪が広がる ボランティアコーディネート講座 2/22(水) 14:00~16:00

認定NPO法人申請相談 相談日は要相談 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505 ☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/



助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

平成29年度地球環境基金助成金

- 助成対象：①1) はじめる助成
2) つづける助成
地域の環境活動を軌道に乗せ、持続的に行われるもの。
- ②ひろげる助成：環境活動をより発展させ、新たな展開を図るもの。
- ③1) フロントランナー助成
2) プラットフォーム助成
社会に新たな環境活動モデルを生み出すもの。
- ④1) 復興支援助成
2) 特別助成
特定の環境課題に取り組むもの。
- ⑤LOVE BLUE助成
清掃活動など水辺の環境保全活動
※詳細は、下記URL参照
- 対象団体：環境保全活動を行う、民間の非営利団体(NGO・NPO)、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、任意団体。
- 助成金額：①50万円～300万円
②200万円～800万円(国内の民間団体による開発途上地域での活動)、200万円～600万円(海外の民間団体による開発途上地域での活動、国内の民間団体による国内での活動)
③1) 600万円～1,200万円
2) 200万円～800万円
④1) 100万円～500万円
2) 200万円～600万円
- 募集締切：1月16日(月)必着
- 連絡先：独立行政法人環境再生保全機構
TEL：044-520-9505(地球環境基金部)
URL：<http://www.erca.go.jp/jfge/>

みやぎ生協福祉活動助成金 (旧こ～ぷほっとわ～く助成金)

- 助成対象：宮城県内における地域福祉の向上をめざし、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的・非営利的で継続的な活動。
- 対象団体：宮城県内で活動している団体およびグループ・個人。(法人格の有無不問)
- 助成金額：原則として1件あたり上限50万円
- 募集締切：1月20日(金)
- 連絡先：みやぎ生協生活文化部 福祉・文化活動事務局
TEL：022-347-3826
URL：<http://www.miyagi.coop/member/fukushi/hotwork/>

公益財団法人俱進会 一般助成

- 助成対象：①事業・活動(身体障害などの理由により困難な状況にある幼児・若年者の順調な育成・教育支援、教育を受けられないものへの教育支援、障がい者・高齢者への諸活動の支援など)
- ②研究(事業・活動の各項目に関する研究)
- ③設備・備品(必要な備品の購入や施設の設備)
- ④会議参加(事業・活動に関連する海外での会議

等への参加)

- ⑤会議開催(事業・活動に関連する会議等の開催)
- 対象団体：実際に日本国内で活動あるいは研究に従事している団体・個人。
- 助成金額：①50万円以内 ②30万円以内 ③80万円以内
④20万円以内 ⑤40万円以内
- 募集締切：1月23日(月)必着
- 連絡先：公益財団法人俱進会
E-mail：mail@gushinkai.com
URL：<http://www.gushinkai.com/index.html>

平成29年度明治安田クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化助成

- 助成対象：①地域の民俗芸能への助成
②民俗技術への助成
- 対象団体：民俗芸能・技術の継承、特に後継者育成のための諸活動を行う個人または団体。
- 助成金額：①1件につき70万円
②1件につき40万円
- 募集締切：1月31日(火)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団
TEL：03-3349-6194
URL：<http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/>

平成29年度第1期 公益財団法人仙台観光国際協会市民国際 交流事業補助金

- 助成対象：仙台市内で行われる国際交流、多文化共生、国際協力活動、異文化理解を促進するための事業。
※下記URL参照
- 対象団体：主に仙台市内で活動し、団体構成員の過半数が仙台市在住又は通勤・通学している非営利団体。
- 助成金額：上限10万円
※補助対象金額により交付額の上限が異なる
- 募集締切：2月28日(火)必着
- 連絡先：公益財団法人仙台観光国際協会
TEL：022-268-6260
URL：<http://www.sentia-sendai.jp/>

公益財団法人ノエビアグリーン財団助成

- 助成対象：児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励している活動。
※活動分野については、下記URL参照。
- 対象団体：公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人。また、それ以外の団体であっても応募要領に記載の要件を備える団体(NPO法人等)
- 助成金額：1件あたり上限300万円
- 募集締切：2月28日(火)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人ノエビアグリーン財団
TEL：03-5568-0305
(土日祝日・年末年始を除く9:00～17:30)
URL：<http://www.noevirgreen.or.jp/>

●連絡先：担当：柳本・大和田・渡辺
TEL：022-266-3951 FAX：022-266-3953
E-mail：g069@miyagi-sfk.net

1/28 2016年度いしのまき福祉送迎講習会

身近に、ひとりでお出かけすることができずに困っている方はいますか？「思い当たらない」「そんなことを気にしたこともない」でしょうか？実は、私たちのすぐ近くにもいるのです。「自分にできること」を増やして、楽しみの幅を広げてみませんか？

- 日時：1月28日(土) 10:00～16:30
「リスクへの備えと自分をいたわる介助テクニック」
2月5日(日) 10:00～16:30
「法の理解と福祉車両などの運転実技実習」
- 場所：石巻専修大学 5号館3階 5302教室
(石巻市新水戸1)
- 内容：1/28)事故の実例に学ぶ、リスク管理講座、実習(実際に役立つ超・介助法)、介助者のメンタルケア、宮城県の移送サービス
2/5)交通法の基礎、福祉車両と適正診断、実習(福祉車両の運転・セダン車両の運転)、利用者理解する
- 対象：家庭、仕事、ボランティアなどに役立てたい方など。普通第一種自動車運転免許または、第二種自動車運転免許を所持している方。過去2年間に於いて大きな事故を起こしておらず、かつ免許停止処分を受けていない方。
- 定員：各回25名(先着順)
- 参加費：各回1,000円
- 持ち物：参加費、運転免許証、運転免許証のコピー、筆記用具、昼食(昼食代500円)、防寒着。
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL・FAXまたは申込みフォームから申込み。
※事前にお申込みいただいていない方の受講はできません。
【申込みフォーム】
<https://goo.gl/forms/9ipdE2OkYGho73Dn2>
- 主催：NPO法人移動支援Rera
- 連絡先：TEL/FAX：0225-98-5667
E-mail：info@npo-rera.org
URL：http://www.npo-rera.org/

1/29 原発のない東北の復興を考える 市民による女川原発の再稼働を問うシンポジウム

東日本大震災・福島原発事故から5年半。東北の復興は「新たな地域社会・地域経済をどう再生、再建するか？」というフェーズに入っています。このような岐路に立つ今、東北の

復興と原発再稼働問題について考えるシンポジウムを開催します。「東北の復興に原発は必要なのか？」「原発に頼らない地域社会・経済をどうつくるか？」を皆さんと共に考えたいと思います。

- 日時：1月29日(日) 13:00～16:30(開場12:30)
- 場所：仙台国際センター 大ホール
(仙台市営地下鉄東西線 国際センター駅下車徒歩3分)
- 内容：【基調講演】
『「脱原発」成長論一分散ネットワーク型社会へ向けてー』
【パネルディスカッション】
「原発のない東北の復興を考える」
- 参加費：無料
- 主催：脱原発をめざす宮城県議の会、市民による女川原発の再稼働を問うシンポジウム実行委員会
- 連絡先：TEL/FAX：022-373-7000(篠原)
E-mail：hag07314@nifty.ne.jp (館脇)
URL：http://dkazenokai.blog.fc2.com/

2/4 食べてはじめる海の応援 お魚がきっと好きになる料理教室 ～親子で楽しむ！旬のお魚クッキング～

- 「食」の楽しさ・大切さ、一緒に体験してみませんか！
- 日時：2月4日(土) 10:30～14:00
 - 場所：みやぎ生協幸町店 調理室
(仙台市宮城野区大槻7-10)
 - メニュー：シーフードライス、たらとトマトパツツア、たらと白子のスープ、うぐいすもち
 - 対象：幼稚園・小学生の親子
 - 定員：12組
 - 参加費：1組1,500円(1人追加700円)
 - 申込方法：下記連絡先にハガキ・FAX・E-mailで申込み。
申込み時、①住所、②TEL、③氏名(ふりがな)、④年齢、⑤参加申込みイベント名を明記してください。
 - 申込締切：1月23日(月)
 - 主催：食育NPO「おむすび」
 - 連絡先：〒981-0912 仙台市青葉区堤町2-8-3(三浦)
TEL：090-4312-3025(清水)
FAX：0229-24-3436
E-mail：tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp

情報をお待ちしてます

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
掲載は無料です！
○締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
○紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-NPO.gr.jpまで

時間もありますのでその時間だけ参加、という方も歓迎です。

- 日 時：1月22日(日) 14:00～16:30
- 場 所：仙台市情報・産業プラザネ！ットU
セミナールーム(1) B (仙台市青葉区中央1-3-1 AER6階)
- 内 容：14:00～ 福島県の今とこれから
15:00～ 福島の人や宮城に避難している人と
お話したい！参加者交流会
15:45～ 直接聞きたい！個別相談会
- 参 加 費：無料
- 定 員：25名(先着順/要事前申込)
- 申込方法：下記連絡先にTELまたはE-mailで申込み。
- 主 催：福島県県外避難者相談センター
(一般社団法人みやぎ連携復興センター内)
- 連 絡 先：担当:太田
〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-7 裕ビル6階
相談ダイヤル：080-9259-7049
※火・水・金曜：10:00～17:00(祝日は休み)
E-mail：f-soudan@renpuku.org
URL：http://www.renpuku.org/

1/25 メディアデザインワークスタジオ 情報発信実践講座

ワークショップスタイルでプロのクリエイターから直接学べる、情報発信をめざすあなたのための実践講座です！

- 日 時：①1月25日(水) 19:00～21:00
デジタルカメラ教室 初級編
②1月27日(金) 18:30～20:30
パワーポイントでイラストを描こう
-グラフィックツールの加工-
③2月4日(土) 13:00～15:00
PRチラシ作成のためのパワーポイント講座
- 場 所：メディアデザイン「ワークスタジオ」
(仙台市青葉区本町通1-1-11 朝日プラザ北一番丁1階)
- 参 加 費：各講座2,000円
- 定 員：各講座5名(先着順)
- 持 ち 物：①デジタルカメラ(コンパクト、一眼、ミラーレス問わず。スマホ不可)
②・③Power Point2010以降がインストールされているパソコン
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailのいずれかで申込み。
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：担当：千葉
TEL：090-3049-0613
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

1/25 NPOのための決算書作成初級講座in石巻

多くのNPOが間もなく決算期を迎えるこの時期。「決算書をつくるには、何からはじめたらいい?」「そもそも決算書ってどういうもの?」など、不安なことはありませんか?この講座では、期末や総会前に慌てないように、決算書類の作成の段取りや作成方法のポイントを学びます。

- 日 時：1月25日(水) 13:00～15:30
- 場 所：石巻市総合体育館 会議室(石巻市泉町3-1-63)
- 講 師：高橋 秀一さん(税理士)
- 内 容：・決算書って何?

- ・日々の会計から決算書類を作成する方法とポイント
- 対 象：NPO・市民活動団体の理事や監事、会計担当者など。
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：800円(税込)
- 持 ち 物：電卓、筆記用具
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、FAX・E-mailで申込み。
申込書は下記URLからダウンロードできます。
TELでも申込みできます。
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/

1/27 簡単ホームページ作成講座 ～NPO・市民活動・自治会・ サークル活動向けの講座～

ホームページをつくるのが初めてという方にお勧めする講座です。最新のサービス(Jimdo)を利用すれば、簡単にしかもほとんど費用をかけないで、スマホにも対応したホームページをつくることができます。

- 日 時：1月27日(金) 10:00～15:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ Paso Cafe
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 対 象：パソコンの基本操作ができる人
- 定 員：4名(先着順)
- 参 加 費：3,500円(テキスト代込)
- 持 ち 物：実習で使うパソコン(Windows7)を用意しますが、Wi-Fi対応のパソコンであれば持ち込みも可能です。
- 申込方法：下記URLにあるお申込み欄からお申込みください。
- 申込締切：1月22日(日)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：https://e-eldertohoku.jimdo.com/

1/27 平成28年度 災害ボランティアシンポジウム 『災害ボランティアの可能性 ～ボランティアの力を、より広く・ 長く活かしていくために～』

今年発生した熊本地震・台風10号による水害・鳥取県中部地震や、昨年の関東・東北豪雨の支援活動に従事された方々からお話をいただき、自発的で多種多様な災害ボランティアの重要性についてあらためて確認します。

- 日 時：1月27日(金) 13:00～15:50
- 場 所：仙台市福祉プラザ ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 定 員：200名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailにて申込み。申込時、氏名、連絡先をおしらせください。
- 申込締切：1月20日(金)
- 主 催：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
(みやぎボランティア総合センター)

- チケット取扱：登米祝祭劇場、BOOKハート(ヨークベニマル内)、道の駅みなみかたもっこのりななど。
- 主 催：登米「みんなの学校」上映実行委員会
- 連絡先：NPO法人わらいの館・四季(担当：白石)
TEL：0220-29-4510
URL：https://www.facebook.com/tome20170121/

1/21 ジェンダー論公開講座「貧困と女性」

子どもの貧困の背景には、経済的に苦しい生活を余儀なくされている「ひとり親家庭」の存在があります。「ひとり親家庭」の8割以上はシングルマザー。結婚や出産で退職する女性がまだ多い現状や、低賃金で不安定な非正規雇用が拡大する中、どんな女性でもこの状況におかれる可能性があります。貧困と女性の可視化に向け、問題を読み解く手がかりを探ります。

- 日 時：1月21日(土) 13:30～15:00
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5階)
- 講 師：大沢 真理氏(東京大学社会科学研究所所長)
- 定 員：50名
- 参加費：1,000円
- 託 児：託児対象は原則として、6ヶ月以上小1まで。上のお子さんやしょうがいのあるお子さんについてもお相談ください。
※託児利用料：300円(お子さん1人1回につき)
※申込締切：1月12日(木)
(先着順/定員になり次第締切)
- 申込方法：イベント申込フォームからお申込みください。
URL：https://ssl.sendai-l.jp/cgi-local/index3.cgi
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：エル・パーク仙台 管理事務局
TEL：022-268-8300 FAX：022-268-8304
URL：http://www.sendai-l.jp/whats/

1/22 認定NPO法人あかねグループ 35周年記念講演会

配食サービスと訪問介護、支え合い活動のあかねグループが35周年を記念して若林区で開催します。「食」を通して支え合うコミュニティづくり等を研究する野村知子氏による講演会です。

- 日 時：1月22日(日) 13:30～15:30(開場13:00)
- 場 所：若林区文化センター 展示ホール
(仙台市若林区南小泉1-1-1)
- 定 員：150名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み。
- 申込締切：1月19日(木)
- 主 催：認定NPO法人あかねグループ
- 連絡先：〒984-0823 仙台市若林区遠見塚1-5-35
TEL：022-285-0945
E-mail：npoakane@violin.ocn.ne.jp
URL：http://npo-akane-group.jimdo.com/

1/22 医療現場で自死・自死未遂者に対応するためのセミナー

～自死を減らす為に医療者が出来る事～

当法人では、平成23年から医療の現場に従事する人を対象に『自死を減らす為に医療者は何が出来るか』をテーマにワークショップを開催しています。今回は参加者の皆様から、自死・自死未遂者とののかかわりの中での困りごとや感じていることを事前にお寄せ頂き、その困りごとやお悩みに答える相談会形式のセミナーを開催します。

- 日 時：1月22日(日) 11:00～17:00
- 場 所：仙台市医師会館 5階(仙台市若林区舟丁64-12)
※公共交通機関をご利用ください。
- 講 師：泉谷 閑示氏(泉谷クリニック院長)
- 対 象：精神科医療に従事する方(医師、看護婦、心理士、ケースワーカーなど)
- 定 員：50名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailでお申込みください。
E-mailで申込みする際は、件名に【1/22 自死研修会申込み】、本文に【氏名・所属・TEL】を明記の上、送信してください。
- 申込締切：1月20日(金)
- 主 催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

1/22 仙台いのちの電話公開講演会 「いま、ともに生きるとは？」

私たちは毎日、ともに生きています。家族と一緒に。職場でともに。外に出ればたくさんの人のなかで。このような生活を当然なこととして過ごしていますが、どこかで不安を感じる時がありませんか？「自分のまわりに誰もいない！」と。その時、わたしたちは何をしようか？「ともに生きること」をみんなで考えましょう。

- 日 時：1月22日(日) 13:30～15:00(開場13:00)
- 場 所：仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 講 師：林 義子氏(カトリック援助修道会会員、東京いのちの電話理事)
- 参加費：無料
- 定 員：170名
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAXまたはURLリンク先の申込みフォームからお申込み下さい。
- 主 催：社会福祉法人仙台いのちの電話
- 連絡先：社会福祉法人仙台いのちの電話事務局
TEL：022-718-4401 FAX：022-718-4431
URL：http://sendai-inochi.jp.org/

1/22 福島県県外避難者の皆様へVol.2 説明会&参加者交流会&個別相談

福島県の職員の方から住宅支援策や今後について、また、各市町村情報などをお知らせします。お子さんのこと、すまいのことなどお知りになりたいことを聞かせてください。お子さんの生活環境について実際に福島で活動されている団体に参加いただき、実情などもお話しします。交流会や個別相談の

民が自らの役割を持つことにより、住民と地域にどんな変化が起こるかを3年間にわたって、定点観測しました。現地NPOの視点から、その実践と結果、そして教訓をお伝えします。実践報告に加え、過去の災害における支援現場に立てこられたゲストを交え、復興における「住民の主体性」が地域にもたらすパワーについて考えます。

- 日 時：1月20日(金) 13:30～16:30
※終了後、会場にて交流会を開催(約1時間)
- 場 所：TKPガーデンシティ仙台 ホール21A
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER21階)
- 内 容：①キーノートスピーチ
「なぜ、復興に住民主体が必要なのか」
今田 克司氏(認定NPO法人日本NPOセンター常務理事)
②現地NPOによる活動報告
「復興活動の現場で見えること、学んできたこと、伝えたいこと」
③パネルディスカッション「地域の課題解決と住民主体×災害復興×地域生活」
- 対 象：地域づくりに関わる組織、NPO支援組織など
ご関心のある方はどなたでも。
- 定 員：50名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：いずれかの方法でお申込みください。
①ウェブサイトから
<http://www.jnpoc.ne.jp/form/jj.html>
②下記連絡先にE-mailまたはFAX・TELで申込み。
申込み時、ご所属、氏名、連絡先をお知らせください。
- 主 催：認定NPO法人日本NPOセンター
NPO法人@リアスNPOサポートセンター
NPO法人陸前たがだ八起プロジェクト
NPO法人ウィメンズアイ
- 連 絡 先：認定NPO法人日本NPOセンター(担当：山本)
TEL：03-3510-0855 FAX：03-3510-0856
E-mail：ayamamoto@jnpoc.ne.jp
URL：http://www.jnpoc.ne.jp/?p=12265

1/20 TOGETHER ACTION PROJECT=TAP 表現ワークショップ&オープンアトリエ

障がいのある人もない人も気軽に参加し、一緒に楽しめる表現ワークショップやオープンアトリエ、先駆的な活動をしている方たちや障がいのある表現者のトークセッションなど障がい理解の促進を図るプロジェクトです。お子様連れ大歓迎。

<オープンアトリエ>

ぶらりと立ち寄り遊び感覚で色々な打楽器を叩いたり、ア

トでなにかを作ったり、自由に体を動かすダンスを気軽に楽しみましょう。

- 日 時：各回17:30～20:00
打楽器：1月20日(金)、2月17日(金)
アート：1月27日(金)、3月7日(火)
ダンス：2月10日(金)
- 申込方法：事前予約不要

<表現ワークショップ>

障がいのある人もない人も共に表現を楽しみ、喜びを分かちあう表現ワークショップです。

- 日 時：2月4日(土)、2月25日(土)
・身体表現：11:00～12:30
・リズム表現：13:30～15:00
・ボイス表現：15:30～17:00
- 申込方法：前日まで下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。

【共通事項】

- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
市民活動シアター(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 参 加 費：無料
- 情報保障：すべてのイベントに手話通訳がつきます。
- 主 催：とっておきの音楽祭実行委員会SENDAI
- 連 絡 先：とっておきの音楽祭実行委員会事務局
〒980-0014 仙台市青葉区本町2-9-3 6階
TEL：022-265-0980 FAX：022-716-5717
E-mail：info@totteokino-ongakusai.jp
URL：http://totteokino-ongakusai.jp/

1/21 「みんなの学校」登米上映会

映画では、日々生まれかわるよう育っていく子どもたちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よるこび、そのすべてをありのままに映していきます。そもそも学びとは？そして、あるべき公教育の姿とは？皆さんも、映画を通して「学校参観」してみませんか？

- 日 時：1月21日(土)
1回目上映 10:10(開場9:40)
2回目上映 13:30(開場13:00)
- 場 所：登米祝祭劇場小ホール
(登米市迫町佐沼光ヶ丘30)
- 定 員：各回200名
- 参 加 費：前売り一般700円(当日800円)
前売り中高生300円(当日400円)
※小学生及び介助のために入場する方無料

縦 覧 中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
■仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県等所轄において、2016年11月11日～12月10日までにNPO法人の設立を新しく申請した団体はありません。

宮城県等所轄・仙台市所轄において
2016年11月11日～12月10日までにNPO法人に
認証された団体はありません。

宮城県のNPO法人数

808 団体

●宮城県等所轄：393団体 ●仙台市所轄：415団体

※2016年12月10日現在

- 募集主体：NPO法人ゆうあんどあい
- 連絡先：NPO法人ゆうあんどあい弁当部
〒983-0841 仙台市宮城野区原町2-1-53
TEL：022-292-7551 FAX：022-257-1510
URL：http://npo-youandi.sakura.ne.jp/bento

イベント

1/13 平成28年度 おしゃべりサロン ふわり・ラルクママ開催

発達障害のある子供の子育てについて、いろいろとおしゃべりしませんか？分かり合える仲間と出会い、お茶を飲みながら情報交換をしましょう。他では話せないことも、ここなら大丈夫。どうぞご参加ください。

- 日時：1月13日(金) 10:00～12:00 ふわり
テーマ「就学・進学に向けて」
1月31日(火) 11:30～13:30
サロンランチ会(詳細はお問合せください)
14:00～16:00 ラルクママ
2月17日(金) 10:00～12:00 ふわり
テーマ「行事参加の準備」
2月21日(火) 13:00～16:00 ラルクママ
- 場所：1月：仙台市シルバーセンター 和室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
2月：みやぎNPOプラザ 第1会議室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 参加費：みやぎ発達障害サポートネット正会員／無料
正会員以外の方／1回1,000円
- その他：ふわりは、主に幼児期から中高生くらいまでの保護者。ラルクママは、主に中高生から成人期の方の保護者が参加しています。
※予定が変更になる場合があります。
- 申込方法：下記連絡先へ申込み
- 主催：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
- 連絡先：TEL：022-265-5581
E-mail：mddsnet@yahoo.co.jp
URL：http://mddsnet.jp/

1/14 すんぷちのダンスワークショップ オドリノタネ

赤ちゃんを連れて、家族で、カップルで、障がいがあってもなくてもどなたでも参加できるダンス？ワークショップです。ダンスの後に？が付くのはきっとみんなが想像するダンスとちょっと違うから。最初はゲームみたいだったのに、いつのまにかダンスになっている？あなたのオドリノタネが目覚めます！

- 日時・場所：各日共通 土曜日10:30～12:00
1月14日 せんだい演劇工房10-BOX3
1月21日 せんだい演劇工房10-BOX3
1月28日 せんだい演劇工房10-BOX4
- 内容：音楽によって、適度な運動でからだリフレッシュ！
座ったままでも、それぞれのペースで大丈夫！
- 対象：年齢や性別、障がいの有無を問わずご参加いただけます。
- 参加費：一般 500円 高校生以下・障がい者 300円
ファミリー割 800円
※世帯を同じくする方何人でも
未就学児・ガイドヘルパー無料
- 持ち物：動きやすい格好で、飲み物、タオルなど持参
- 申込方法：はじめてのご参加の方は下記までご連絡ください。
- 主催：NPO法人アートワークショップすんぷち
- 連絡先：TEL：070-5017-5904
E-mail：sunp.yoyakumail@gmail.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

1/18 MIA日本語サポーター ビキナー研修会 外国人に日本語を教えるボランティア活動について一緒に学びませんか？

MIA日本語サポーター制度は、日本語を学習したい宮城県内に住む外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア登録・紹介を行っています。新規サポーター登録者を随時募集しています。詳しくはMIAまでお問合せください。

- 日時：1月18日(水) 13:00～16:00
- 場所：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
(仙台市青葉区堤通南宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7階)
- 講師：鈴木 英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 内容：地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語・やさしい日本語について、日本語学習教材の紹介など。
- 定員：20名(先着順)
※参加はMIA日本語サポーター登録者に限りま
す。未登録者でこの研修会参加を希望される
場合は、事前にご登録をお願いします。
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで事前申込み。
- 主催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
- 連絡先：TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
URL：http://mia-miyagi.jp/

1/20 <シンポジウム>復興の先を見据えた地域づくり ～住民の主体性を考えた復興支援のあり方～

日本NPOセンターでは、岩手、宮城のNPO3団体と共に、住

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2016.12.16現在) 敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 102名

<名取市> ●NPO法人パートナーシップなど

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口 3,000円
賛助会員NPO	一口 5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の
種類をご記入ください。

information

12月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

「こどもがつくるまち」をサポートしてくれる ボランティア大募集!!

私たち「Piccoliせんだい」は、小学生を対象に、子どもだけの仮想都市の中でまちづくり・職業体験をし、働く喜びやお金・物の大切さ、社会の仕組みを体験し学ぶ取り組みを、企画・運営・サポートしています。「働く・稼いだお金で生活する」といった疑似体験ができるイベント「Piccoliせんだい」の活動に参加しませんか？

- 活動日時：月に2、3回・不定期
(サポーターの都合に合わせて設定)
- 活動場所：大学の食堂、宮城野区文化センターなど、その日集まるサポーターの都合に合わせて決定(Skypeなどで遠隔会議を行う場合も有)
- 活動内容：①Piccoliせんだい本番に向けた企画・運営
(主に大学生が担当)
②共催、協賛などの外部との連携作業。
(主に社会人が担当)
③こども会議のサポート、見守り。
- 対象：子ども対象のボランティアに興味がある方はだれでも！(年齢不問)
- その他：イベント開催日2018年2月10日(土)、11日(日)、12日(月・祝)の3日間
- 申込締切：2017年2月末日
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください。簡単な面談を行います。(E-mailは常時受付。TELの場合、8:00～22:00の間で対応)
- 募集主体：NPOピコセンサポーター事務局
- 連絡先：TEL：090-8617-0955
E-mail：piccolisendai@gmail.com
URL：http://picosenboshu.wixsite.com/mysite

有給スタッフ募集

高齢者宅配弁当の調理 厨房パート募集

定年退職後の活動の場や、子育てや介護等で仕事をお休みしていた方、活動に参加してみませんか？

- 勤務日時：9:00～18:00(この時間内でシフト制)
※曜日・活動日数等は要相談
- その他：有資格者、経験者チーフ待遇有。
- 申込方法：下記連絡先にTELで問合せ。
- 募集主体：認定NPO法人あかねグループ
- 連絡先：〒984-0823 仙台市若林区遠見塚1-5-35
2階事務所
TEL：022-285-0945
URL：http://npo-akane-group.jimdo.com/

事業案内

仙台市初級障害者スポーツ指導員 養成講習会を開催します

私たちは、障害のある方々にスポーツを体験していただくためのきっかけと環境づくりを行っています。この講習会で学ぶ「初級障がい者スポーツ指導員」は、スポーツに参加する障害のある方に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ活動の支援を行います。修了後は、ボランティアとして各種大会の運営スタッフ、スポーツ教室などで参加者と一緒に楽しみながら活動いただきます。

- 日時：2017(平成29)年2月11、12、25日(全3日間)
各回9:30～18:00
- 場所：仙台市宮城野区中央市民センター 会議室1、
体育館(仙台市宮城野区五輪2-12-70)
- 対象：3日間受講できる方。
18歳以上の方で地域において障害者スポーツ・レクリエーション活動に従事している方。もしくは興味・関心があり、将来、障害者スポーツの振興に貢献する意欲のある方。
- 定員：30名(定員を超える申込みの場合、抽選)
- 参加費：無料(テキスト代3,500円、資格認定を希望される方は9,300円が別途必要)
- 持ち物：運動に適した服装、運動に適した室内用シューズ、筆記用具、昼食
- その他：全課程を修了した方は(公財)日本障がい者スポーツ協会認定「初級障がい者スポーツ指導員」の資格認定を受けられます。
- 申込方法：申込用紙を下記URLからダウンロードし、郵送にて申込み。※郵送のみの受付
- 申込締切：1月20日(金)必着
- 主催：仙台市、仙台市障害者スポーツ協会
- 連絡先：仙台市障害者スポーツ協会
TEL：022-236-8690(月～金 10:00～17:00)
FAX：022-236-8691
E-mail：sdsa@pop21.odn.ne.jp
URL：http://www1.odn.ne.jp/sdsa/

NPO法人ゆうあんどあいが手作り弁当を宅配します!

「薬を飲んでいいるから食べられないものがあるけど…」「アレルギーがあるんだけど…」など高齢者の方はもちろんのこと、小さいお子様がいらっしゃるご家庭、どなたでもご利用いただけます。

- 代金：1個あたり600円
- 特徴：550kcal・塩分は3g以下を目安に！
★安心な食材を使用し、栄養士が日替わりの献立を作成
★町内会・老人会の集まりにもお届けいたします。
★定期的な配達も承ります。申込み予約が必要です。
- 対応日：月曜日～金曜日営業
※土・日・祝祭日はお休み



エクセレントNPO大賞 組織力賞を 受賞しました!

『自らの使命のもとに、社会の課題に挑み、広く市民の参加を得て、課題の解決に向けて成果を出している。そのために必要な、責任ある活動母体として一定の組織的安定性と刷新性を維持している。』の条件を満たす非営利組織が「エクセレントNPO」。

今年で4回目となる「エクセレントNPO大賞」は12月15日に表彰式が行われ、杜の伝言板ゆるるは「組織力賞」に選ばれました!ゆるるに対する評価は、「情報開示や法令順守、資金調達に関する課題認識も明確であり、総合的な面で、組織力に優れている」でした。

今回の2次審査の条件だったクラウドファンディング「READYFOR」へのチャレンジの際は、皆さんの応援により、お陰様で目標額を達成することができました。ありがとうございました!

これからも努力を重ねて活動を続けていきますので、これからも応援をよろしくお願いします!

詳細は「エクセレント NPO」を目指そう市民会議をご覧ください。

<http://www.excellent-npo.net/index.php/ja/>



平成28年度仙台市NPO法人組織基盤安定化事業

NPO法人運営力向上セミナー

一組織の基盤を整える7つのこと一

NPO法人の組織運営力の向上を目的とした様々なセミナーと専門家による相談会を開催します。
広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう!

● 1/26 (木) 信頼や共感を得るための事務局運営講座 ●

事務局運営はNPO法人にとって組織の要です。NPO法人が定款や法令を遵守した手続きや、信頼を得るためのガバナンスの在り方、寄附や支援者などの共感を得るための情報発信、事業を運営するにあたっての進め方など、事務局を担うスタッフにとって必要なノウハウを学びます。

講 師:大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)
開催日時:1月26日(木) 14:00~16:00
会 場:仙台市市民活動サポートセンター 研修室5(仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

● 2/15 (水) めざせ! 認定NPO法人セミナー ●

認定NPO法人制度の最大のメリットは、「寄附者に対する税制優遇」です。認定を取得することで、寄附者に恩返しができます!このセミナーでは、認定NPO法人制度がどのようなものなのか、認定取得のための書類や手続き、PSTの相対値基準の計算の仕方についてなど、初心者にもわかりやすく解説します。取得後の責任と活用について理解し、認定NPO法人への第一歩を踏み出しましょう!

講 師:大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)
開催日時:2月15日(水) 14:00~16:00
会 場:仙台市青葉区中央市民センター 第2会議室(仙台市青葉区一番町2丁目1-4)

【セミナー共通事項】定 員:20団体 参加費:1人あたり800円(税込)

主催:認定NPO法人杜の伝言板ゆるる・仙台市

● 1月の個別相談会 ●

【参加費/無料 申込締切/開催日の1週間前まで】

● 労務個別相談会

雇用手続き全般から、就業規則の作成や見直しなど、労務に関すること、また「マイナンバー制度」についての相談にも応じます。

1月27日(金) ①13:30~14:30 ②14:40~15:40
相談担当:若山 章一郎(特定社会保険労務士) 定員:2団体
会 場:仙台市市民活動サポートセンター研修室1

● NPO運営相談

NPOの組織運営全般、事業について、また、助成金申請についてなど様々な相談に応じます。

1月10日(火)~2月28日(火)の間で、希望日時を応相談
相談担当:大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事) 定員:3団体
会 場:相談者と相談のうえ、決定

申込方法/参加申込書にご記入のうえ、FAX、郵便、もしくは希望する講座・相談会、氏名、団体名、連絡先を記載したメールにてお申込みください。電話でのお申込みも受け付けます。

※先着順で受け付けますので、申込状況によってはご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。

お申込・お問合せ 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

下記連絡先をご覧ください。